

平成30年度事業計画

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

公益財団法人福岡ケーブルビジョン

平成30年度事業計画

1 事業概要

当公益財団法人は、公益目的事業として地上デジタル放送を再放送している本体施設（20,730世帯）およびテレビ放送受信障害対策施設の8施設（2,560世帯）の維持管理を継続して行ないます。

収益事業は、本体施設でCS放送サービス・BS放送サービス・インターネット接続サービスの提供を継続して行ないます。

2 施策

(1) 公益目的事業

① 受信障害対策地区の利用料の有料化

維持管理補償期間が29年5月までに終了した対策施設の「都市高速道路建設に起因する博多区松島地区、博多区上月隈・大野城市大城地区の369世帯」、30年9月に終了する「都市高速道路建設に起因する博多区多の津・粕屋町戸原地区66世帯」、30年11月に終了する「都市高速道路建設に起因する西区愛宕・姪浜地区314世帯」の加入者に対する、有料での継続利用の案内を行ないます。

また、補償期間の終了が29年7月から31年11月にかけての下川端再開発地区は、継続して有料での継続利用の案内を行ないます。

② 施設維持管理費の削減

電柱管理者が実施する電柱建て替えにより、架設している線路設備の移設依頼が年間100件程度ありますが、簡易なものは職員で施工します。

30年度も地上テレビ放送のデジタル化により新規の加入が見込めませんので、加入の解除により加入者がなくなった線路設備は撤去します。

これより、線路修繕費・道路占用料・電柱共架料・電力費の施設維持管理費を削減します。

③ 幹線増幅器の更新

線路設備の幹線増幅器は900台ありますが、設置後18年が経過し始めましたので、90台の内部の電源ユニットを設備更新引当金を充てて更新していきます。

また、増幅器の運用レベル測定の時間短縮と自動記録のため測定器を更新します。

④ 無停電電源装置のバッテリー更新

幹線増幅器は局地的停電があっても運用できるように、増幅器数台ごとに無停電電源装置が設置されており、総数は150台になります。

30年度も設備更新引当金を充てて同装置のバッテリーを更新していきます。

⑤ 福岡市の無電柱化電線共同溝整備事業への対応

博多区千代4丁目地区の博多箱崎線電線共同溝	平成30年度完成予定
中央区平尾2丁目地区の県道桧原比恵線電線共同溝	平成30年度完成予定
博多区石城町地区の築港石城町線電線共同溝	平成34年度完成予定
中央区六本松地区の市道博多駅草香江線電線共同溝	平成35年度完成予定

以上については、事業の進捗に合わせて設備を地中化するため入溝します。

⑥ 国土交通省の国体道路春吉橋架替事業への対応

春吉橋には地中線路を添架していますので、30年度は建設中の迂回橋に線路を添架し、旧来設備との切り替え接続を行います。

平成29年度に着手したこの事業は、迂回橋を新設して春吉橋を付け替え、迂回橋を残置して34年度秋に完了するものです。

⑦ 地中線設備の修繕

早良区百道浜地区には、地中線設備でサービスを提供しています。

車道にあるマンホールの蓋の舗装が30年になり劣化していますので、設備更新引当金を充てて舗装の修繕を行います。

(2) 収益事業

① CS放送サービス

本サービスの放送番組はハイビジョン放送画質で6番組、標準テレビ放送画質で35番組となっていますので、設備投資なしで14番組をハイビジョン化します。

② BS放送サービス

BS4K放送が本年12月に開始されるので、ケーブルステーション福岡CSFが開始予定のBS4K放送サービスを利用して、現行のCS放送サービスと同様に再放送設備を設置することなく再放送を開始します。

③ 自主放送設備の更新

11チャンネルで放送している自主放送の自動送出装置は、設置後15年を経過して、5連装ハードディスクドライブの予備機を使い切り、メーカーのサポートも終了していますので、設備更新引当金を充てて更新します。

また、EPG装置のサーバは11年を経過しており、故障すると地デジ放送視聴に影響を与えることと、メーカーのサポートも終了していることから、同様に更新します。

編集装置は設置後10年になり、フリーズや電源の投入に失敗するなどがあり、メーカーのサポートも終了していますので、同様に更新します

3 加入見込

(単位：世帯)

種別	施設区分		加入数		内訳		
			年度初	年度末	加入	解約	増減
基本番組	本体施設	有料	14,370	13,950	180	600	△420
		補償	6,360	6,050	0	310	△310
	対策施設	有料	570	640	*1 90	*2 20	70
		補償	1,990	1,530	0	*3 460	△460
CS放送サービス			670	690	50	30	20
BS放送サービス			870	910	70	30	40
インターネット接続サービス			380	390	30	20	10

*1 松島地区、上月隈地区、多の津・戸原地区、その他で補償終了有料化

*2 有料化済み地区(吉塚・堅粕地区、その他)で転出解約

*3 松島地区、上月隈地区、多の津・戸原地区、その他の補償終了解約

4 収支予算

収入は事業収入および難視対策受託収入ならびに事業外収入で 289百万円、支出は事業費および管理費ならびに事業外支出で 293百万円となり、収支差金は-4百万円を見込みます。

以上

平成30年度収支予算

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

単位:千円

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
事業費	235,838	事業収入	169,539
人件費	29,294	加入料	216
施設維持管理費	52,857	引込工事料	246
放送費	25,096	屋内工事料	2,050
消耗品費	880	利用料	122,409
諸費	1,834	機器使用料	19,227
委託費	11,970	施設使用料	2,268
広告宣伝費	5,136	諸手数料	23,123
公租公課	8,640		
加入工事費	4,031	難視対策受託収入	118,116
減価償却費	57,000	施設受託工事料	10,800
固定資産除却費	1,000	管理受託料	107,316
施設撤去引当金	13,900	調査等業務受託料	0
設備更新引当金	24,200		
難視対策委託費	0	事業外収入	1,018
施設工事費	0	受取利息	968
		雑収益	50
管理費	56,023		
人件費	29,418		
賃借料	10,609		
修繕費	400		
消耗品費	2,670		
諸費	12,556		
公租公課	20		
貸倒損	350		
事業外支出	700		
支払利息	0		
雑損失	100		
法人税充当額	600		
当期支出合計	292,561	当期収入合計	288,673
当期収支差金	-3,888		

平成30年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入金の予定 なし

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定 あり

事業番号	施策項目	設備投資の内容	支出の予定額	資金調達方法	設置
公益1	(1) ③	幹線増幅器更新 *1	3,000 千円	設備更新引当預金	平成11年11月
		測定器の更新 *2	500 千円	設備更新引当預金	平成8年3月
	(1) ④	無停電電源装置バッテリー更新	3,820 千円	設備更新引当預金	平成16年1月
	(1) ⑦	地中線設備の修繕	1,000 千円	設備更新引当預金	平成元年5月
	(2) ③	自主放送送出設備更新 *3	12,160 千円	設備更新引当預金	平成15年3月
		自主放送EPG装置更新 *4	618 千円	設備更新引当預金	平成18年11月
		自主放送編集装置更新 *5	567 千円	設備更新引当預金	平成20年8月
		合 計	21,665 千円		

*1 増幅器900台のうち90台の電源ユニットの交換の予定

*2 増幅器運用レベル測定の時間短縮と自動記録のため

*3 メーカーのサポートが平成25年3月で終了し、5連装ハードディスクドライブの予備機を使い切ったため

*4 メーカーのサポートが平成27年7月で終了し、故障すると地デジ放送視聴に影響を与えるため

*5 メーカーのサポートが平成25年6月で終了し、編集サーバの動作が不安定なため